

科目名	体育	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間
-----	----	-----	------	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	体育の、合理的な学習過程を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的な実践を通して、楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、それらの技能を身に付けるようにする。【知識・技能】 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。【思考力・判断力・表現力】 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育むとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】
使用教材等	副教材 「ステップアップ高校スポーツ 2023」 大修館書店

☆学習計画および評価方法

学	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時
第 1 学 期	・ 導入「学習について」		学習方法、整列等についての指導。準備運動である「吉田体操」の習得。	22
	・ 体づくり運動		【体づくり運動】	
	・ 持久走		体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるようにする。	
	・ 新体力テスト	4	ア 体をうごかす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力や生活に応じ、 実生活に役立てている。 【知識・技能】 イ 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えている。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 互いに助け合いながら高め合おうとし、合意形成に貢献しようとして いる。 【主体的に学習に取り組む態度】	
	<選択1期（球技）>	5	【球技（ベースボール型・ネット型）】	
	・ ソフトボール		球技について、次の事項を身に付けることができるようにする。	
	・ バレーボール		ア ベースボール型（ソフトボール）では、状況に応じたバット操作での 攻撃、安定したボール操作による守備などによって攻防をしている。 【知識・技能】	
	・ バドミントン		イ ネット型では、状況に応じたボール操作によって攻防をすることがで きる。 【知識・技能】	
	・ 卓球	6	ウ 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えている。 【思考力・判断力・表現力】	
	・ ソフトテニス		エ フェアなプレイを大切に、互いに助け合い高め合おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	
【知識・技能】				
○実技テスト（50%） ○授業中の実技の様子（50%）				
【思考・判断・表現】				
○グループワーク（50%） ○質問や発言の内容の聞き取り（50%）				
【主体的に学習に取り組む態度】				
○授業への主体的参加（80%） ○グループワークの相互評価（20%）				
【1学期の評価方法】				
「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を 50％：20％：30％の割合で総括し、10段階評定とする。				

期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時
第 2 学 期	<選択2期> ・水泳 ・器械運動 (マット運動) ・陸上競技 (走高跳)	7	【水泳】 水泳について、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア クロールと平泳ぎにおいて、手と足の動きのバランスを保ち、安定したペースで長く泳ぐことができる。 【知識・技能】 イ 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 水泳に主体的に取り組むとともに、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。 【主体的に学習に取り組む態度】 【器械運動 (マット運動)】 器械運動について、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア 回転系の基本的な技を滑らかに安定して行っている。 【知識・技能】 イ 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとすることや、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【陸上競技 (走高跳)】 陸上について、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア リズミカルな助走から力強く踏み切り、はさみ跳びや背面跳びなどの跳び方でより高いバーを越えたり競争したりできる。 【知識・技能】 イ 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 陸上競技に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	28
		8	※選択3期の 【球技】 の学習のねらい(評価規準)は、選択1期と同様。	
		9		
		10		
		11	※選択4期の 【球技】 の学習のねらい(評価規準)は、選択1期と同様。 【球技 (ゴール型)】 球技について、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作によって空間への侵入から攻防している。 【知識・技能】 ウ 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えている。 【思考力・判断力・表現力】 エ フェアなプレイを大切にし、互いに助け合い高め合おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	
	<選択3期 (球技)> ・バレーボール ・ソフトボール ・ソフトテニス ・サッカー			
	<選択4期 (球技)> ・バスケットボール ・バドミントン ・卓球 ・ソフトテニス ・サッカー			

	【知識・技能】 1 学期と同様
	【思考・判断・表現】 1 学期と同様
	【主体的に学習に取り組む態度】 1 学期と同様
	【2 学期の評価方法】 1 学期と同様

学	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時
3 学 期	<選択 5 期 (球技・武道) > ・バスケットボール ・バドミントン ・卓球 ・体づくり運動 ・柔道	12	※選択 5 期、その他の【球技】の学習のねらい(評価規準)は、選択 1 期と同様。 【武道】 武道について、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて、相手を崩して攻防している。【知識・技能】 ウ 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えている。【思考力・判断力・表現力】 エ 相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	20
	<選択 6 期> ・バスケットボール ・バドミントン ・卓球 ・体育理論(必修)	1	※選択 6 期の【球技】の学習のねらい(評価規準)は、選択 1 期(ネット型)および選択 5 期(ゴール型)と同様。 【体育理論】 スポーツの文化的特性や原題のスポーツの発展について、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。【知識・技能】 ウ 課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。【思考力・判断力・表現力】 エ スポーツの特性や発展について、学習に自主的に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	
	2	※体育理論においては、選択した球技と 1 時間置きに実施する。		
	【知識・技能】 1 学期と同様			
	【思考・判断・表現】 1 学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 1 学期と同様			
【3 学期の評価方法】 1 学期と同様				
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の 5 段階評定とする。				